

地域医療提供体制の推進に係る課題

- 救急医療体制 小児二次救急の受入れが可能な医療機関が2医療機関と少なく、担当医の恒久的な確保が課題となっている。
- 小児周産期医療 北部区域は、小児周産期医療の機能が不足していることから、平時及び災害時の医療提供体制の構築を図る必要がある。
- 医療機能分化・連携 圏域内で回復期リハビリテーション病床を持つ病院は、3病院と少なく、急性期病院で治療が終わった患者の回復期機能病院への円滑な転院が課題である。また、大規模感染症や大規模災害が発生した場合の隣接県との協力体制の構築や、地域での病院・診療所間の機能分担、協力体制の在り方についても今後検討が必要と考える。

2025年に向けて圏域が目指す姿

急速な高齢化を見据え、地域医療の充実による安心と活気にあふれた高齢社会の実現を目指す。限られた医療資源のなかで、質の高い医療提供体制を構築する必要がある。医療人材確保を最重要課題としながら、医療機能分化・連携を進める。

現状・残された課題

- 小児二次救急病院の安定的な運営
- 小児周産期医療の体制整備
- 群馬県との医療連携の深化と救急医療に係る補助
- 病院機能と診療所機能を有効に発揮できる地域医療提供体制の在り方の検討
- 回復期リハビリテーション病床の不足への対応
- 医療・看護・介護における連携強化
- 医師・看護師等の人材確保
- 未稼働病床について、不足する病床への転換等の方策の検討